

令和7年(2025年)12月7日(日)～10日(水)

北海道厚真高等学校

北海道勇払郡厚真町本郷234の3

(0145-27-2069)

巻頭言

～見学旅行の目的と意義～

引率団長(校長)佐藤 公人

2学年の皆さん、今年度も「見学旅行」の時期が来ました。皆さんは、この見学旅行についてどのように考えているでしょうか。「いつもの学校生活と違って面白そうだ」「知らない場所での活動が少し不安だ」「良い思い出にしたい」など、様々な期待と不安があるかもしれません。例年、高校で実施されているこの見学旅行にはどのような意義があるのかを改めて考え、一人ひとりがそれを踏まえて参加し、この研修旅行で得た経験をこれからの学校生活や様々な活動の中で活かすことが最も大切なことであります。

見学旅行の本来的な目的は、少し堅い表現になりますが、次のような内容だと考えられます。

- ①日本の歴史的文化遺産を残す古都や西日本の政治・経済の中心地で広い見識を培うとともに、異なる生活圏の自然風土や人々とのふれあいを通じて豊かな情操を養う。
- ②集団生活を通して級友とふれあいを深め、集団における秩序・ルール、マナー等を学び、自主・自律・協調の姿勢を身に付ける。そして、自らの健康や安全に配慮した生活・活動を通じて、健康・安全管理の大切さを学ぶ。

これらの意義・目的を踏まえながら、皆さんには、ぜひ、異なる地域における風土や文化を肌で感じながら、集団行動や他とのコミュニケーション能力を身に付ける良い機会としてもらいたいと思います。そしてもう一つ、高校生活の良い思い出をつくることも大切な目的だと考えます。

12月7日(日)から10日(水)までの3泊4日間、奈良・京都・大阪方面の関西地域においての団体旅行となります。皆さん一人一人が「楽しむこと」と「学ぶこと」のメリハリをつけながら、上記の意義や目的を意識した素敵な見学旅行にしてもらいたいと思います。

最後になりますが、2学年の皆さんとともに、無事、この見学旅行が成功に終わることを願い、巻頭言とします。

— 目次 —

1	見学旅行心得	3
2	旅行日程表	5
3	自主研修計画表	9
4	班割・部屋割り	21
5	持ち物チェックリスト	22
6	身だしなみチェックリスト	22
7	研修日誌	23
8	メモ欄	27
9	飛行機の荷物について	29
10	集合場所	30

1 見学旅行心得

(1) 見学旅行のねらい

- ① 集団行動を通じて人間的なふれ合いを深め、集団の規律や秩序を重んじる態度を育成する。
- ② 伝統や慣習、気候や風土等の異なる地域を訪れ、個々の文化や地域性を学び、社会的見識を深める。

(2) 基本的な心構え

- ① 常に目的意識を持って行動し、見学地の文化を積極的に学びとる。
- ② 集団行動のルールを守り、落ち着きある行動を心がけ、事故が起きないように各自が注意する。
 - ・10分前行動5分前集合を心がけ、絶対に時間に遅れない。
 - ・連絡事項をきちんと聞き、メモをとる。
 - ・単独行動や自分勝手な行動をしない。
 - ・他人に迷惑をかける行動をしない。
- ③ 引率の先生や添乗員の指示に従う。
- ④ 他校生や外部の人とトラブルを招かないよう、言動に注意する。

(3) 服装について

- ① 服装・頭髪等は生徒心得に従う。
- ② 制服を着用するときは正装(ブレザー、ネクタイ、リボン、校章)を原則とする。その他、場所ごとの指示に従う。
- ③ 私服は華美にならないようにする。極端に露出の多い服やアクセサリーは認めない。

(4) 持ち物

- ① 荷物は必要最低限とし、不要なものは持っていない。
- ② カバンに指定のタグを取りつける(目印代わりに付けるので、学校名以外は記入しなくてよい)。
- ③ 高価なものや不必要な貴重品は持っていない(紛失等は自己責任)。
- ④ 小遣いは自主研修の費用を含めて 40,000 円以内とし、2カ所に分けて保管するなど金銭の管理には十分気をつける。
- ⑤ 1人1枚ICカード(kitaca)を配布する。1,500 円分チャージされており、自主研修の移動や買い物などに使うことができるので、なくさず持ち歩くこと。なお旅行後もカードの回収は行わない。

(5) 乗り物を利用する際の注意

- ① 添乗員や係員の指示に従って素早く行動し、列が広がらないようにする。
- ② 指定された席に座る。
- ③ 一般客に迷惑をかけないようマナーを守る(大声・携帯電話など)。
- ④ 航空機搭乗時は手荷物を一つにまとめ、検査に手間取らないように注意する。
- ⑤ 航空機内では係員の指示に従い、電子機器(携帯電話等)は電波を発信しないように設定する。
- ⑥ 航空機内ではトイレ以外で席を立たず、シートベルトを着用する。

(6) 旅館・ホテルでの注意

- ① 自分の部屋割を守る。異性の部屋への出入を禁止する。また点呼以降は他室の訪問を禁止する。
- ② 室内はきれいに使用する。備品を大切に扱い、壊したり持ち帰ったりしない。
- ③ 貴重品の管理に十分注意する。
- ④ 避難経路・非常口を必ず確認する。
- ⑤ 室内電話は使用しない。
- ⑥ 館内ではパジャマ・スリッパ・裸足などで廊下に出ない。
- ⑦ ホテルはオートロックのため、必ず鍵を持って部屋を出る。また無くさない。

(7) 見学する際の注意

- ① 立入禁止や撮影禁止等の指示・標示に従う。
- ② 文化財へ落書や破損を絶対にしない(処罰対象)。

(8) 自主研修中の注意

- ① 自主研修計画表に基づき、必ず班ごとに行動する。
- ② 必要に応じてメモをとり、写真等記録に残すようにする。自主研修先では集合写真を撮るようにする。
- ③ 緊急時にはすみやかに先生に連絡する。
- ④ 自主研修終了(帰着)時刻を厳守する。

(9) 外出について

- ① 宿からの外出は決められた時間を厳守する。
- ② トラブル防止のため、必要以上の金銭は持って行かない。

(10) 健康管理について

- ① 出発前から健康管理に注意し、体調を整えておく。
- ② 食事と睡眠をきちんととり、楽しい旅行になるよう心がける。
- ③ 体調が悪いときはすぐに先生に申し出て、無理はしない。

(11) その他

- ① 旅行中は常に「身分証明書」と「見学旅行のしおり」を携行する。
- ② 班行動中は互いに班員の確認を怠らない(単独行動をしない、させない)。
- ③ 点呼時間(21:30)までに日誌を記入し、点呼の際教員へ提出する。

5 持ち物チェックリスト

チェック	大きなカバンに入れるもの	チェック	小さなカバンに入れるもの
	タグ（カバンに付けておく）		身分証明書
	着替え（下着、靴下、私服等）		しおり
	制服（正装）		筆記用具（はさみ・カッターは抜いておく）
	洗面用具・入浴用具		健康保険証・マイナ保険証
	パジャマ類（部屋着）		携帯電話
	常備薬（酔い止め等）		カメラ（スマホでも可）
	雨具（折り畳み傘・カッパ等）		ハンカチ・ティッシュ
	携帯電話の充電器		小遣い（40,000 円以内）
	ビニール袋（あると便利）		常備薬（その日に飲む分）
			ウェットティッシュ（あると便利）
			モバイルバッテリー（必要な人）

※コードレスヘアアイロンは基本的には持って行けない。（大きなカバン、小さなカバンともに不可）

※ヘアスプレー、制汗スプレー、消毒スプレー、冷却スプレーなどは1本 500g 以下であればどちらのカバンでも持って行ける。（合計で最大2 k g まで）

※モバイルバッテリーが必要な人は機内に持ち込めるが、棚に置くことが出来ない。

6 身だしなみチェックリスト

チェック	
	服装が華美になっていませんか？
	化粧はしていませんか？
	ヒゲは剃ってありますか？
	ピアスなど不適切な物を付けていませんか？
	制服をきちんと着ていますか？（ネクタイ・リボン・スカート丈）
	制服にボタン、校章は付いていますか？制服に穴やほつれはありませんか？

機内のみOK

リチウムイオン電池を含むもの

ライター
一人1個モバイルバッテリー含む
リチウムイオン電池の1つの
最大は160whまで

預け荷物のみOK

刃物や長い物は凶器もしくは他の乗客の
方に迷惑がかかる恐れがあるもの

※モバイルバッテリーは機内の棚には置けません。（カバン入れて足下などに置きましょう。）
機内のみ（手荷物にするもの）の例



デジタルカメラ

パーソナル
コンピューター

電子ゲーム



ビデオカメラ



携帯電話



予備電池

携帯電話用
充電器

預け荷物のみ（機内に持ち込まないスーツケース・大きな鞆など）の例

刃物等の機内への持ち込みは **法律違反** であり、
100万円以下の罰金の対象となります。

機内持ち込み制限品目

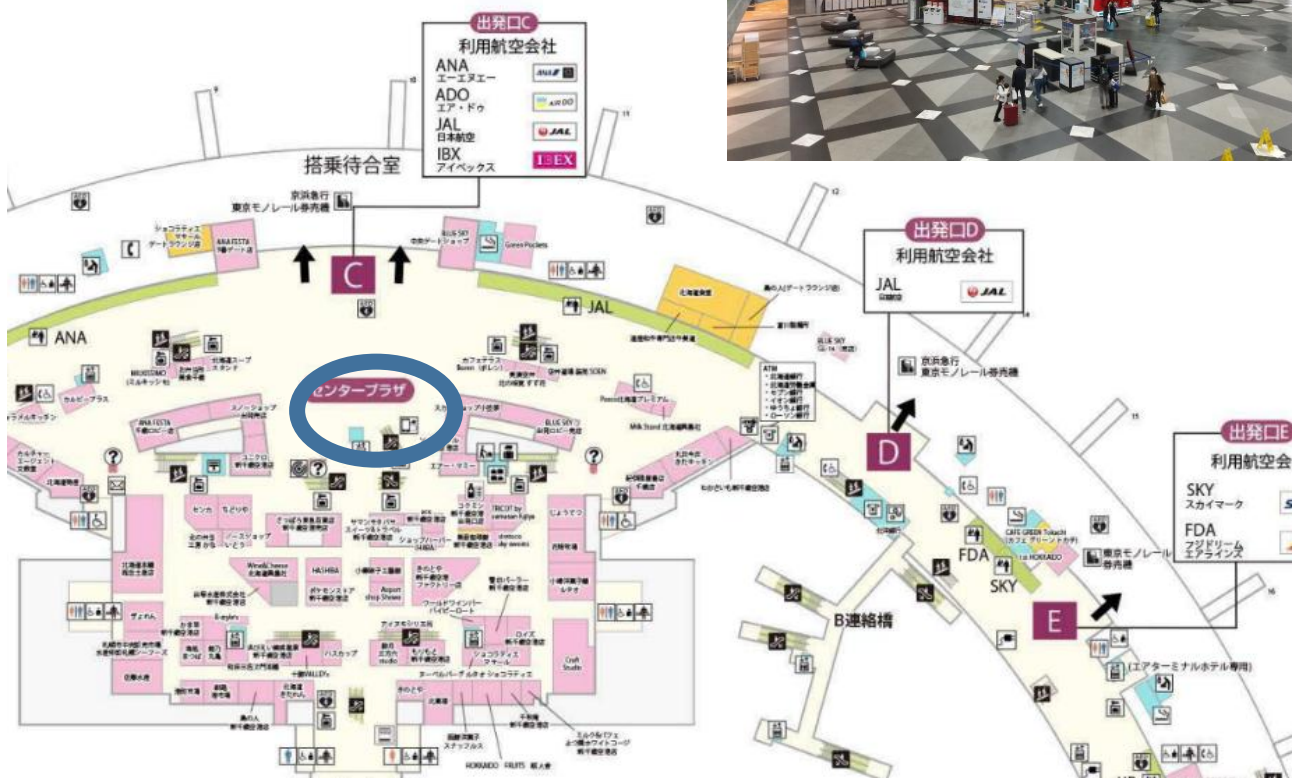
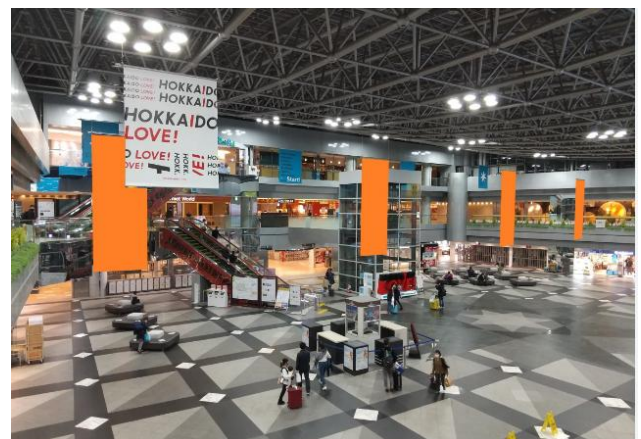
ナイフ類 ハサミ スタンガン 先の尖った物 バット類

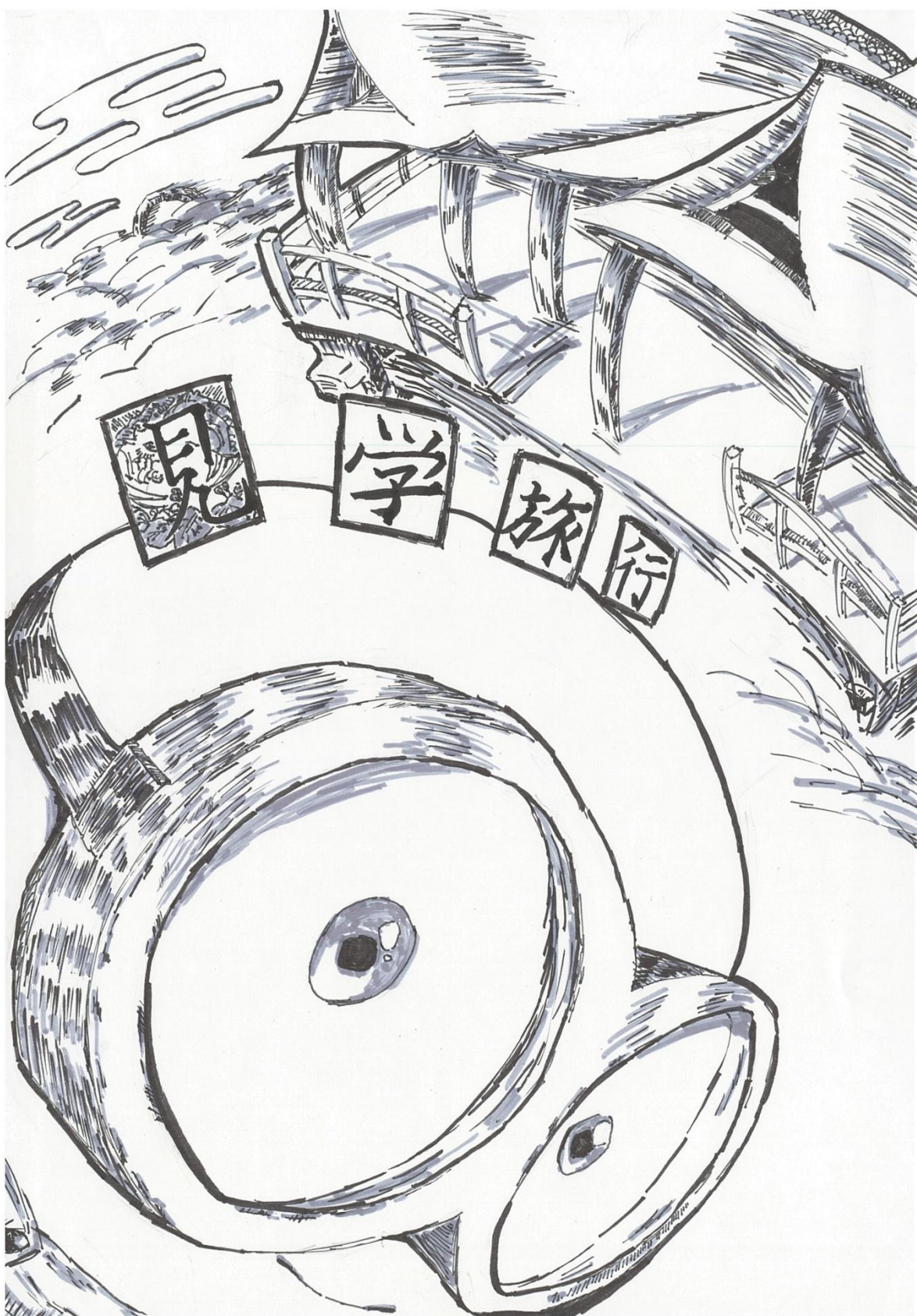
機内持ち込み手荷物はお1人さま1個です
(ハンドバッグ等、身の周り品を除く)

◎集合場所について

新千歳空港2階中央にあるセンタープラザ

9 : 3 0 集合です。





氏 名